

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成
 21年度決算把握後 平成 22 年 5 月 21 日 作成

事務事業名		不法投棄処理事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連
総合 計画 体系	政策	2	緑豊かな環境と共生するまちづくり		所属部	市民部	課長名 上山 幸顕
	施策	8	廃棄物の抑制とリサイクルの推進		所属課	環境衛生課	担当者名 石原 勝史
	基本事業	23	廃棄物の適正処理		所属班	環境衛生班	(内線) 1143
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	合志市美しいまちづくり条例
	1	4	1	7	10123		成果優先度評価結果 11 コスト削減優先度評価結果 6
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 年度) 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細、期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	町の美化のため公共の場へ不法投棄された廃棄物を処理する。 美しいまちづくり条例により、投棄された土地の所有者が処分する事になっているため、公共用地の場合は、主に市が処分する事になる。その処分のための事業である。 処分量は増加の傾向にある。 22年度より、類似する不法投棄防止啓発事業と統合し不法投棄対策事業として、事業の効率化を図る。
【業務の流れ】	投棄不法投棄処分(環境美化センター等へ持ち込み)、処分料の支払い
【主な予算費目】	役務費
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	住民より私有地の処分もどうかして欲しいとの声がある。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動) (DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
不法投棄処分、処分料支払いを行った。 不法投棄の処分量 6,275kg 緊急雇用創出事業により、2名(3ヶ月)雇用し不法投棄の処分を行った。	21年度に同じ ※22年度より、類似する不法投棄防止啓発事業と統合する。
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	⇒ ア 処分量 (単位)
⇒ イ 処分量 (単位)	⇒ イ 処分量 (単位)
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
一般廃棄物、産業廃棄物	⇒ ア 一般廃棄物の量 (kg) ⇒ イ 産業廃棄物の量 (kg)
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
公共用地へ不法投棄されたものを処分する	⇒ ア 処分量 (kg) ⇒ イ 処分量 (kg)
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠 22年度より、類似する不法投棄防止啓発事業と統合し不法投棄対策事業として、事業の効率化を図る。	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込
④ 活動指標	ア	件	5	8	6	10			
	イ								
⑤ 対象指標	ア	kg							
	イ	kg							
⑥ 成果指標	ア	kg	2445	6275	3000	8000			
	イ								
事業 費 入 量	財源 内 訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
		一般財源	千円	323	353	323	1,603		
	(A) 事業費計	千円	323	353	323	1,603	0	0	
	(A)のうち指定経費	千円							
	(A)のうち時間外、特勤	千円							
人件 費	正規職員従事人数	人	3	6	6	5			
	延べ業務時間	時間	428	860	880	780			
	(B)人件費計	千円	1,699	3,440	3,502	3,104	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	2,022	3,793	3,825	4,707	0	0	

総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
(期間限定複数年度のみ記載)
0
0
0
0

合志市

事務事業名	不法投棄処理事業	所属部	市民部	所属課	環境衛生課
-------	----------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷

3 評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

21年度は、緊急雇用創出事業により、2名(3ヶ月)雇用し不法投棄の排除及び啓発に努めた。
22年度より、類似する不法投棄防止啓発事業と統合し不法投棄対策事業として、事業の効率化を図る。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 不法投棄パトロールと合わせて処分についても委託を検討する。 22年度より、類似する不法投棄防止啓発事業と統合し不法投棄対策事業として、事業の効率化を図る。	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
				コスト																			
削減			維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持																						
	低下																						
(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 不法投棄防止パトロールについては、計画的に夜間も実施しているが、経済危機対策事業の補助事業により委託することで更に強化徹底が期待できる。 22年度より、類似する不法投棄防止啓発事業と統合し不法投棄対策事業として、事業の効率化を図る。																							